

基本機能は互角か？付加機能こそが購買の決め手！

Photo : Nakamura Tohru

ISDN ターミナルアダプター 購入ガイド

アナログ回線からISDNへと移行するユーザーの急激な増加に伴い、TA(ターミナルアダプター)の価格も、モデムと同じような価格帯に近づいている。TA自体もデータ通信機能は成熟してしまって通信速度に差がないことから、各社ともそれ以外の機能で差別化を図ろうとしており、購入時のポイントも多岐にわたるようになった。そこで、どれを選べばいいのかわからない、そんな人のために、ユーザーのニーズに合ったベストなTAの選び方を紹介しよう。 山本雅史

最新のTAは使える機能が盛りだくさん

「インターネットには高速のISDN回線」という機運が急速に広がり、一昨年からISDNが一気にブレイクした。今年に入りTA自体もさまざまなバリエーションに富んだ製品が発表されている。これは、TA自体のデータ通信機能が成熟してしまい、通信速度に差がなくなっていることから、各社ともそれ以外の機能で差別化を図ろうとしているのだ。ちょっと極端な言い方をすれば、ホームページの表示速度やソフトウェアのダウンロードの速さだけを考えるなら、どのTAを選んでも同じなのだ。

TAの新しい機能としては、NTTが今年から始めたナンバーディスプレイへの対応、モデムを使わずにTAでFAXの送受信を可能にするソフトへの対応、便利なアナログ通話機能やNTTのサービスへの対応、USBポートの装備といったことがあげられる。

以上のようなことをふまえて、自分はどうな機能が必要なのかを考え、それぞれの製品を比較してニーズに合ったTAを選んでもらいたい。



いま、TAを買うなら ここをチェック!

これだけは押さえておきたい基本機能

TAを購入する際にまず考えてほしいのが、TAをどのような用途で利用するのかということ、どのような環境で利用するのかの2点だ。DSUとの接続や屋内配線の状態などを考えて自分のニーズに合ったTAを選択するようにしたい。まずは、DSUやS/T点の有無、設定の簡単さなど、TAを選ぶうえで押さえておきたい基本的な機能をチェックしてみよう。

DSU内蔵型は1台目に最適

最近のTAのほとんどはDSUを内蔵しており、今回紹介している製品もすべてDSUを内蔵している（DSUなしのモデルもラインアップされている）。1台目のTAを購入するならDSUを内蔵したタイプがおすすめだ。別途DSUを購入しなくてもいいし、価格的にも割安だ。ただし、電話を置く場所とパソコンを置く場所が離れているなら、DSUのないTAを購入して、NECのコムスターズDSUのようなアナログポートが複数付いているDSUを別に用意したほうが配線がスッキリできるというメリットもある。

また、購入するTAが2台目のときは、DSUのないITAを選ぶ。購入したいITAにDSUのないモデルがない場合は、「DSU切り離しスイッチ」があるかどうかをチェックしよう。

DSU内蔵TAを購入するときのチェックポイントとしては「極性反転スイッチは付いているか」ということがある。これは、屋内配線が逆転していたとき、このスイッチ1つで正転に切り替えられるというもので、この機能がないとNTTに工事を頼むか、別途コネクタを用意しなければならない。

S/T端子の有無

ISDN回線では、1本の回線に8つのISDN機器を接続できる。S/T端子は、ISDN機器を接続するためのコネクタで、これをうまく利用すれば、複数台のTAやダイヤルアップルーターなどを接続できる。このS/T端子も今回紹介しているTAのほとんどに装備されている。注意しなければならないのは、終端抵抗に関してだ。S/T端子では、一番最後に接続した機器（一番離れたところにある機器）

に終端抵抗を入れなければならない。このため、ほとんどのTAには終端抵抗をON/OFFするスイッチが付いている。これからTAを購入するなら、将来のことも考えてS/T点と終端抵抗スイッチの有無をチェックしてほしい。

128Kbps通信とBODは あたりまえのデータ通信機能

今回紹介しているTAはすべてMP（Multilink Protocol）に対応している。128Kbpsでの通信はもうあたりまえなのだ。さらにMP機能を一步進めたBOD（Bandwidth On Demand）機能もサポートしている。

BODには、128Kbps（2チャンネル）での通信中に電話やファックスなどの発着信があった場合、通信を自動的に1チャンネルに切り替えて電話を使えるようにする「リソースBOD」と、通信データ量によって64Kbpsと128Kbpsを切り替える「スルーブットBOD」という2つの機能が搭載されている。

アレクソンのALEX-TD503などは、このBOD機能によるチャンネル数の増減を自動切り替えだけでなく、ボタンを押すだけで簡単にできるといった付加機能が大きな特徴となっている。これにより、テレホーダイの時間だけ128Kbpsにするとか、大きなファイルをダウンロードするときだけ128Kbpsにするといったことが、とても簡単にできる。このような便利な機能は、購入の際の大きなポイントだ。

RVS-COM対応なら TAでFAXが使える

今年になって注目されているのが、ドイツのRVS Datentechnik社が開発した「RVS-COM」というソフトウェアだ（日本語版はメ

ガソフト（<http://www.megasoft.co.jp/>）から28,000円で発売されている。この「RVS-COM」を使えば、TAでG3FAXの送受信やファイル転送、RVS電子メールなどが利用できるようになる。このソフトを利用するにはTAが「RVS-COM」に対応していること（ISDN CAPI2.0規格をサポートしたTA）が必要になる。いくつかのTAメーカーでは、機能限定版である「RVS-COM Lite」をバンドルした製品をリリースしている（Lite版とスタンダード版の機能の違いは表1を参照）。

設定が簡単なものもいい

TAを購入して一番面倒なのが各種の設定だ。多くのTAではモデムと同じようにATコマンドを拡張して設定ができるようになっていく。しかし、TA独自の設定を自在に使うには、専用の設定ソフトが必要になる。この設定ソフトの使い勝手によって、TAが使いやすいかどうかが決まってくる。ウィザード形式で質問に答えながら設定できたりするソフトが初心者には使いやすいだろう。

また、ファームウェアのバージョンアップをどれだけの頻度で行っているかも、購入ポイントになる。バグフィックスのために何度もファームウェアがバージョンアップされるのは問題だが、「RVS-COM」のような新しい機能が出れば、すぐに対応してくれるTAメーカーなら、今後安心してTAが利用できる。購入時には価格だけでなく、サポートも考えておくべきだろう。

表1 RVS-COM機能対応表

	Lite版	スタンダード版
FAX機能		
FAX一括送信	x	
ファイル転送		
リモートコントロール	x	
RVS電子メール	x	
テレフォニー		
日英バイリンガルOCR	x	



自分のニーズにぴったり合ったTA選び

これまで、これからTAを購入するときに押さえておきたいポイントをいくつか紹介してきたが、ここでは、さまざまなニーズに合ったTAをいくつか紹介しよう。それぞれ特徴のある機能をしっかりとチェックして、自分の環境にぴったり合ったTAを選ぶときの参考にしてほしい。

リアルタイムに電子メールを受信したい

リアルタイムに電子メールを受信したいという人にはNECのAtermシリーズをおすすめする。Atermシリーズで利用できる「電子メール着信通知サービス」は、ISDNのDチャンネルを使った「ユーザー間情報通知サービス(UUI)」を利用したもので、自分宛てのメールがメールサーバーに保存されると、Atermの前面にあるランプが点滅してユーザーに通知してくれる。付属のユーティリティソフトを使えば、件数も確認できる。まさに専用線感覚で電子メールを利用できるようになるのだ。ただし、このサービスはBIGLOBEへの加入と申し込みが必要になる。

TAを電話機のとそばに置きたい

TAをパソコンではなく電話機のとそばに置きたいという人にはサン電子のTS128JX /DZがおすすめだ。電話機+TAがパソコンの場所と離れていて、置き場所に悩むことはよくある。通常、TAはRS-232Cケーブルでパソコン

とつなぐため、パソコンのとそばに置く。しかし、電話機はほかの部屋に置きたい。そこで、TS128JX /DZには「ESP(Extension Serial Port)ユニット」というものが付属していて、このESPユニットを使えば、パソコンとTAを最大100メートルのモジュラーケーブルでつなぐことができるようになる。これなら配線も簡単だし、TAを電話機のとそばに置くこともできる(図1)。

アナログ通話機能は重視しない

「アナログ通話機能は重視しない。とにかく128Kbpsで接続できて、ネットサーフィンやソフトウェアのダウンロードが快適にできればいい」というデータ通信機能を重視してTAを選ぼうとしている人には、NTT-TE東京のMN128-miniがいいだろう。TA自体のデータ通信機能は成熟してしまい、通信速度の差はなくなっているのだから、アナログ通話機能などを重視しないのであれば価格の安いもので十分なのだ。MN128-miniは、23,800円という56Kモデムと同等の価格で購入できる驚きのTAだ。

手軽に128Kbps通信を使いたい

手軽に64Kbpsと128Kbps通信を使い分けたい人には、アレクソンのALEX-TD503がいい。このTAは、本体の前面にあるボタンを押すだけで、BOD機能によるチャンネル数の増減が簡単にできるのだ。この機能を使えば、通常は64Kbpsで通信し、大きなファイルを読み込むときだけ128Kbps通信に切り替えるとか、テレホーダイの時間になったら128Kbpsに切り替えるといったことがボタン一つでできるのだ。

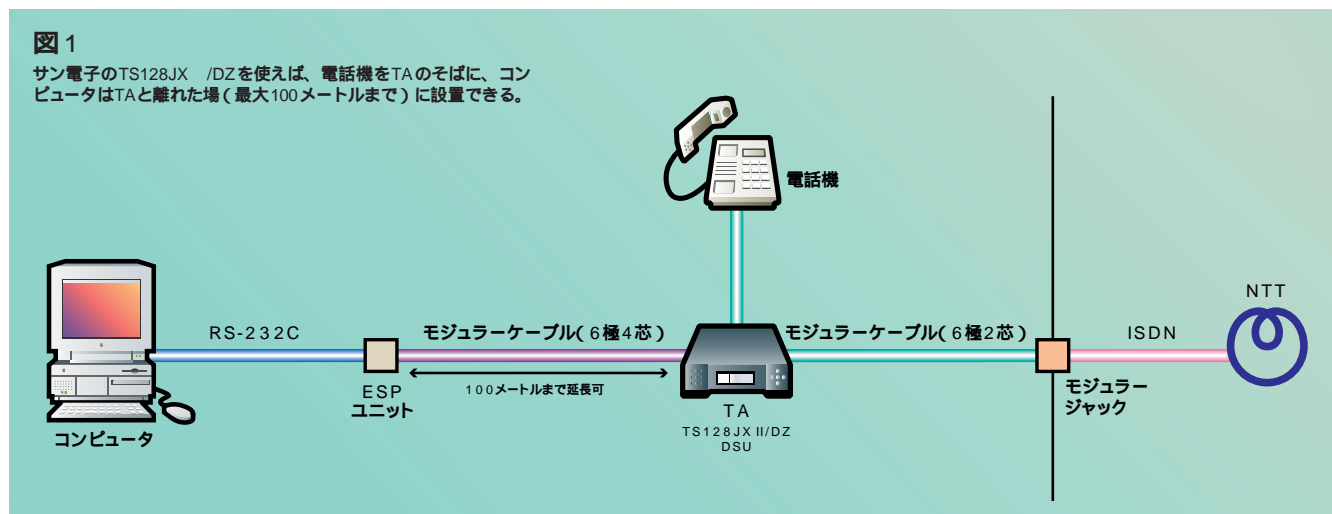
電話機を複数台接続したい

電話機を複数台接続したい人にぴったりのTAは、アレクソンのALEX-TD503だ。このTAには、独立回路のアナログポートが3つ装備されており、しかも、すべてのポートがNTTのナンバーディスプレイに対応しているのだ。

Product Showcase

図1

サン電子のTS128JX /DZを使えば、電話機をTAのとそばに、コンピュータはTAと離れた場(最大100メートルまで)に設置できる。



便利なアナログ通話機能とNTTのサービス

せっかくTAにするのなら、アナログモデムにはない便利なサービスを使わない手はない。ここでは、インターネットや通話に関連した主なISDNの機能を紹介しよう。NTTに申し込む必要のあるサービスと、その機能をサポートするTAで設定するだけで使えるサービスとがあるので注意しよう。

通話中着信通知サービス

通話中着信通知サービスは、NTTが提供する無料サービスで、着信時、すでに空きチャンネルがない場合に、通信機器にその着信を知らせるといった便利なものだ。2Bでネットサーフィンをしているときに電話がかかってきたら、自動的に1チャンネルを電話に切り替えるといったリソースBOD機能を使う場合には、必ずこのサービスが必要になる。ISDNの契約をするときに忘れずに申し込んでおこう。また、TAもこのサービスに対応しているものでなくてはならないが、今回紹介しているTAはすべてこの機能を持っている。

擬似コールウェイトニング

コールウェイトニングはアナログ回線のキャッチホンに相当するもので、擬似コールウェイトニングは、NTTとの契約なしにTAで擬似的にコールウェイトニングを実現する機能のことだ。もちろん、TAはこの機能を持っていないといけない。ISDNでは、NTTがコールウェイトニング機能をフレックスホンサービス（4つのサービスを一緒にして提供している）として提供しているが、これには、毎月1000円の付加料金がかかる。しかし、TAの擬似コールウェイトニング機能は、キャッチホン機能に関してはNTTに付加料金を支払わなくてもいい。ただし、この機能を利用しているときは、通話用に1本、保留用に1本使うので、データ通信を行うことはできない。

ダイヤルインとグローバル着信サービス

ダイヤルインサービスは、契約者回線番号以外に電話番号を追加できるサービスで、電話とFAXで違う番号を使いたいときなどに便利だ。料金は番号を1つ増やすごとに月額900円が追加される。このダイヤルインサービス

を申し込むときに、必ず一緒に申し込んで欲しいのが「グローバル着信」だ（無料）。このグローバル着信機能に対応したTAでは、アナログポートに接続した通信機器に個別に通信することができるようになる。たとえば、ISDNの電話番号には「グローバル着信する」に設定しておけば、最初に付与されたISDN番号のときに電話機がなるようになる。この場合、ダイヤルイン番号でダイヤルされた場合は、こ

の電話機はならない。ダイヤルイン番号を指定した通信機器だけに着信できるようになる。これでISDN回線をアナログ電話2回線として利用することができる。

さらに、ダイヤルインの料金は番号を1つ増やすごとに月額900円が追加されるが、実際には契約者回線番号とダイヤルイン番号の両方に課金されてしまうため、ダイヤルイン番号を1つ追加しただけで月額1800円の料金がかかってしまう。しかし、TAの「グローバル着信識別」という機能を設定すれば、1本分の月額料金900円だけで2つの電話番号を使うことができる（図2）。

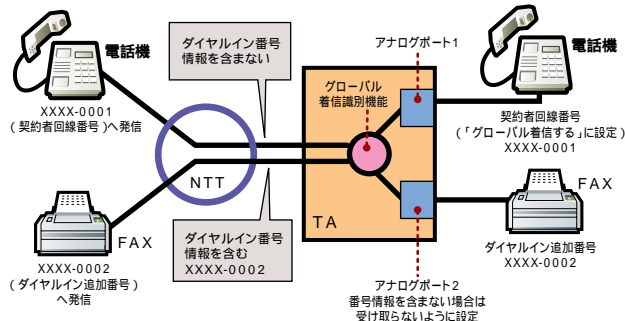


図2 ISDNの電話番号を「グローバル着信する」にして、FAXをつないでいるポートを「着信番号情報を含まない場合は受け取らない」と設定する。ダイヤルイン番号情報は1つ付けるだけなので、月額900円ですむ。

ISDN (INS ネット) の主要なサービスの一覧表

インターネット関連機能

必要度	サービス内容	サービス名	設定	料金
	発信者番号通知により受信・認識した番号を通信確立前に切断し、折り返し呼び出しをかける	ステルスコールバック	通信機器	無料
	ISDN同士で、相手の電話番号にサブアドレスを加えてダイヤルし、特定の通信機器に着信させる	サブアドレス通知サービス	通信機器	無料
	着信時に空きチャンネルがない場合に、通信機器にその着信を通知する	通話中着信通知サービス	NTT/通信機器	無料
	もとの契約者番号以外に電話番号を増やす	ダイヤルインサービス	NTT/通信機器	1番号900円/月

通話関連機能

必要度	サービス内容	サービス名	設定	料金
	通信機器のアナログポートに接続された電話機同士で内線通話や転送ができる	内線通話・転送	通信機器	無料
	NTTとの契約なしでダイヤルアップルーターやTAで擬似的に実現したコールウェイトニング機能	擬似コールウェイトニング機能	通信機器	無料

両方に関連する機能

必要度	サービス内容	サービス名	設定	料金
	着信番号ごとに着信する通信機器を選択できる。ダイヤルインサービスと組み合わせると便利	グローバル着信	NTT/通信機器	無料
	23時から8時まで、あらかじめ登録した2つの電話番号への通話や通信が使い放題になる	INSテレホーダイ	NTT	2,400円/月 (市内住宅用プラン)
	あらかじめ登録した市外局番への通話や通信料金が割引される	INSテレホーイ	NTT	200円/月より
	発信した時間、発信先の番号、通話(通信)時間、料金などを交換機に記録する	料金明細内訳記録	NTT	無料

「通信機器」とあるものは、ターミナルアダプターなどの通信機器の対応と設定が必要。
= インターネット用にしたいもの = ユーザーによっては必要なもの



充実の 最新TAスペックガイド

今年に入って新たに発売されたTAはそれぞれ特徴がある。基本的なデータ通信機能やアナログポートの機能は、どのTAでも変わらなくなってきている。まず、これまで紹介してきたいくつかのチェックポイントの中から、自分のニーズに合った機能やサービスを決めたいうえで、ここで紹介する各TAの機能をしっかりとチェックし、自分の環境にぴったり合ったTAを選び出してほしい。

マルチジョグダイヤルが使いやすい電話帳内蔵TA

ALEX TD503

アレクソンのTD503aは、まず本体の操作パネルが目がいく。オーディオ機器と同じような大型のジョグダイヤルと大型液晶パネルが用意されており、すべての操作がこのジョグダイヤルと液晶パネルでできるようになっている。

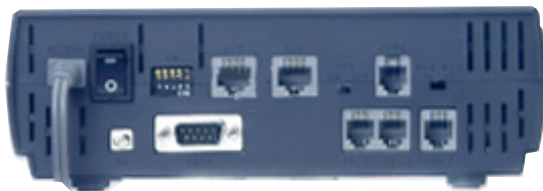
このジョグダイヤルが非常に使いやすく、データ通信やアナログポートの設定まで、このダイヤルですべて操作できる。今までのTAのように、さまざまなスイッチを押したり、コンピュータから設定したりすることもなく、オーディオ機器感覚で使える。

また、今までの電話をかけた先と電話がかかってきた先のログを見ることができる。本体に電話番号を登録できるため、これと合わせれば電話番号と登録した名称で検索することができる。さらに、ジョグダイヤルと同時に利用する操作ボタンも便利だ。たとえば、使い方の難しい転送電話モードはボタン1つで設定できる。さらに、128Kbps通信と64Kbps通信の切り替えもボタン1つでできる。

さらにおもしろいのはDDIの -ALPHA3というシステムを内蔵していることだろう。これは、普通の電話機などが内蔵しているLCRだ。これを利用すれば、ユーザーが複数の通信事業者の回線と契約している場合に、TA自身で長距離の電話料金を計算して、NTT、DDI、日本テレコム、日本高速通信などから一番安い回線を自動的に選択してくれる。もちろん、電話料金が改定されたら、 -ALPHA3に更新データが送られてきて、いつでもコストの安い回線



バックライト付き液晶ディスプレイとマルチジョグダイヤルが特徴的なインターフェイス。



左上から、電源スイッチ、ディップスイッチ、S/T端子2つ、DSU切り離しスイッチ、ISDNポート、極性反転スイッチ。左下から、アース、RS-232Cポート、アナログポート3つ。

を選択することができる。

データ通信の設定は、ウィンドウズ95などの場合はモデムのプロファイルデータが用意されているため、これを利用する。アナログポートの設定に関してはユーティリティーが用意されている。使いやすい設定ユーティリティーというわけではないのだが、ジョグダイヤルにより本体で簡単に設定できるため問題ないだろう。

株式会社アレクソン 51,200円

問い合わせ先 : 03-5645-8571

付属品 : RS-232Cケーブル、変換コネクター、ISDNケーブル、壁掛け用取り付けねじ、設定ソフトウェア

URL : <http://www.alexon.co.jp/>



アナログポート設定用のユーティリティーの画面。



電子メール着信通知機能が使える高機能で安価なTA

AtermIT50 DSU

AtermIT50 DSUは、数あるTAの中でも安定した人気を誇っているNECの製品だ。

AtermIT50 DSUの特徴は非常に使いやすい設定ユーティリティーで、BODやアナログポートの設定がパソコンから簡単できる。ユーザーはマニュアルと見比べながら設定しなくても大丈夫だ。このあたりは、さすがによく売られている製品だけあってよくできている。

最新のファームウェアでは、NTTのナンバーディスプレイにも対応しているし、着信ダイヤルインを複数持つことができたり、TA側で着信転送、三者通話のできる機能が追加されたりしている。これにより、NTTに毎月付加料金を支払わなくても、これらのサービスを利用できる。

AtermIT50の最大のメリットは、電子メール通知機能だ。これは、NECが運営するプロバイダー「BIGLOBE」でしか利用できないが、電

子メールがきているかどうかをTAのランプが知らせてくれる便利な機能だ。TAのランプが点滅したときにだけ、パソコンの電源を入れ、電子メールを読み込めばいいというわけだ。この機能がほかのプロバイダーにも普及していけば便利なのだが。



高機能S点ユニットを装着した背面。左上の2つのS/T端子が高機能S点ユニット。その下は、ISDNポートと極性反転スイッチ。右側は、上からアナログポート2つ、RS-232Cポート、電源スイッチ、アース。

Atermシリーズ共通のデザインで、液晶も見やすい。

NEC

39,800円

問い合わせ先 : 0120-498-563

付属品 : RS-232Cケーブル、変換コネクタ、ISDN

ケーブル、縦置き用スタンド、設定ソフトウェア

URL : <http://www.meshnet.or.jp/aterm/>



高機能S点ユニット(PC-IT/UX1)

NECのAtermシリーズには、オプションでS点ユニットが用意されている。これを利用すれば、TAを複数接続することができる。ということはあたりまえだが、このS点ユニットは、ホームネットワークモードというものを持っている。このモードでは、1本のISDN回線に接続されているAterm同士で簡単なLANを作ることができたり、TAに接続されているパソコンでフ

ァイル転送を行ったりすることが可能だ。

さらに、通常のTAに装備されているS/T点では、同一のTAに接続した電話機同士でないと内線通話ではできなかったが、このユニットを装着したTAをネットワーク的に最上流に接続すれば、以下に接続するTAにつないだ電話機同士でも内線通話ができるようになる。



販売元 : NEC
 価格 : 7,000円
 問い合わせ先 : 0120-498-563
 URL : <http://www.meshnet.or.jp/aterm/>

AtermIT65シリーズの後継機「AtermIT65EX」が登場

NECは、AtermIT65シリーズの後継モデルとして「AtermIT65EXシリーズ」を発売した。使いやすいと好評だった設定ソフト「らくらくウィザード」にBIGLOBEへのオンラインサインアップ機能を盛り込んだり、USB機能を強化したり、ポケベルやPHSにショートメッセージを送れるようになったりと、ローエンドからハイエンドユーザーまで、幅広いユーザーのニーズに応えた高機能TAに仕上がっている。価格はDSU内蔵のAtermIT65EX/Dが42,800円、DSUなしのAtermIT65EXが34,800円で、6月上旬から出荷される。





USBポートを備えた高機能TA

128deUSB

128deUSBは、名前のとおりUSB(ユニバーサル・シリアル・バス)を持っているのが特徴だ。ウィンドウズ98とウィンドウズ95 OSR2.1では、シリアル回線を利用するのではなく、USBポートに差し込んでこのTAを利用する。特にISDNの128Kbps通信を行うと既存のシリアル回線では負荷が大きくなり、データのロストが起こるようになる。このため128Kbps通信を行うときは高速対応のシリアルポートを別にパソコンに接続していた。しかし、USBポートの登場によりシリアル回線の制限を超えた通信ができるのだ。

基本的な設定のできるユーティリティーは付いているが、ウィザード形式で簡単に設定できるようにはなっていない。表示されている用語も難しいため、まったくISDNを知らないユーザーが設定するにはちょっと難しいだろう。



7つのLDEで通信状態の詳細がわかるようになっている。

上から、アナログポート3つ、S/T端子、ISDNポート、USBポート、RS-232Cポート、アース、電源スイッチ。

株式会社日成電機製作所 52,800円

問い合わせ先 : 052-302-1128

付属品 : RS-232Cケーブル、変換コネクタ、モジュラーケーブル、USBケーブル、設定ソフトウェア

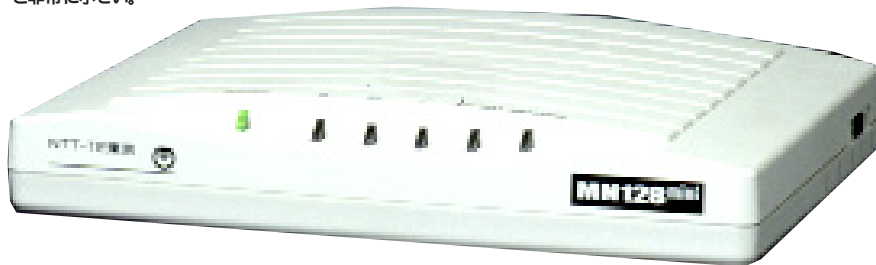
URL : <http://mc.axis.co.jp/nissei/>



実売20,000円を切る低価格TA

MN128-mini

175(幅)×128(奥行)×30(高)と非常に小さい。



MN128-miniは、ISDNを大きく普及させるきっかけになったNTT-TE東京のMN128を機能アップさせて低価格にしたもので、23,800円という56Kモデムと同じような価格で購入できる魅力的な製品だ。この価格でDSUも内蔵しているというのだから信じられない。これならISDNを引くユーザーも多くなってくるだろう。

残念なのは、MN128で培われた設定ユーテ

ィリティーが用意されていないことだ。データ通信に関しては、ウィンドウズなどの設定ファイルを利用すればそのまま使える。しかし、アナログポートや転送電話などの設定に関しては、アナログポートに接続した電話機からプッシュホンで行わなければならない、非常にややこしい。このあたりは、ぜひとも改善してほしい。やはり、使いやすいパソコン用の設定ユーティリテ

NTT-TE東京 23,800円

問い合わせ先 : 0120-128023

付属品 : RS-232Cケーブル、変換コネクタ、モジュラーケーブル、設定ファイル

URL : <http://www.sphere.ad.jp/te-tokyo/miniindex.htm>



左から、ACアダプター接続端子、RS-232Cポート、アース、極性反転スイッチ、ISDNポート、終端抵抗スイッチ、S/T端子、アナログポート2つ。

ィーがないとISDNのすべての機能を使うことは難しいだろう。

データ通信は128Kbps通信のBODもサポートしているので、満足がいかない部分はほとんどない。いろいろなオプション機能が付いていないことを考えれば、データ通信を重視したスタンダードなTAといえるだろう。



TAとパソコンの接続を100メートルまで延ばせるTA

TS128JX / DZ

TS128JX /DZの最大の特徴は、独自の拡張シリアルポートであるESP(Extension Serial Port)を持っていることだろう。このESPを利用すれば、6極4芯のモジュラーケーブル(通常の電話線)で最大100メートルまで延長することができる。つまり、TAをパソコンの近くに置かなくてもよくなるのだ。ケーブルもシリアルケーブルではなく、電話線のようなケーブルを使っているため配線もしやすい。ただし、注意が必要なのはパソコン側にESPアダプターが必要になることだ。このアダプターがESP独自ポートをパソコンのシリアルポートに変換する。

このような機能が付いているためか、TAとしてはちょっと高めめの定価になっている。しかし、電話機が置かれているところにTAを置いて、パソコンが離れていてもOKというなら、このぐらいの出費は許容範囲内だろう。

また、各種の設定ユーティリティも揃っているの、パソコンからTAの設定ができる。

左から、ISDNポート、極性反転スイッチ、S/T端子、RS-232Cポート、ESP端子、アナログポート3つ、電源スイッチ、アース。左上の2つのスイッチはDSU切り離しスイッチと終端抵抗スイッチ。



NTTのナンバーディスプレイにも対応している大きな液晶ディスプレイ。右がESPユニット。

サン電子株式会社 49,800円

問い合わせ先 : 0120-863810

付属品 : RS-232Cケーブル、変換コネクタ、ISDNケーブル、モジュラーケーブル、ESPユニット、設定ソフトウェア

URL : <http://www.sun-denshi.co.jp/scc/scc-j.htm>

-LCR3に対応した機能充実TA

TM-AD1281

TM-AD1281は、縦横どちらにでも置けるように液晶パネルを回転できるのが特徴だ。ゴム足も縦横両方に付いており、滑りにくくなっている。この液晶パネルには、通常は時刻が表示され、通信時には接続速度やモードが表示される。

また、付属している通信ソフト「RVS-COM Lite」を利用すれば、TAから直接FAXを送受信することができる。「RVS-COM Lite」はいくつかの機能が限定されているが、メガソフトがリリースしている正式版を使えば、RVS電子メールやファイル転送機能が利用できる(FAXだけ利用するならLite版でも十分だ)。

さらに、DDIの-LCR3を内蔵しているの、TAでありながら通信コストを考えた長距離電話ができる。遠距離の電話をよく使う人には便利な機能だろう。

データ通信機能や電話機能などは、特に変

わったものが入っているわけではない。BODやフレックスホンへの対応、NTTのボイスワープやなりかけサービスへの対応がなされている。設定ユーティリティも揃っているため、ISDNのサービスを十分に生かすことができるだろう。



左から、電源スイッチ、アナログポート2つ、アース、S/T端子、RS-232Cポート、ISDNポート。

液晶ディスプレイは回転式で、縦置きでも横置きでも見やすいようになっている。

アイワ株式会社 34,800円

問い合わせ先 : 03-3371-7981

付属品 : RS-232Cケーブル、変換コネクタ、モジュラーケーブル、設定ソフトウェア

URL : http://www.aiwa.co.jp/exhibi/new_p98/tm-ad1281.html



ひとつの機能を備えたスタンダードなTA

MT128B -D

MT128B -Dは、128KbpsのBODや各種のISDNサービスに対応しているほか、付属の通信ソフト「RVS-COM Lite」によるG3FAXの機能を利用できる。「RVS-COM Lite」は、G3の圧縮と展開などをソフトウェアで行うため、ある程度のCPUパワーを持ったパソコンが必要になる。さらに、FAXを受信するためにはパソコンの電源が24時間入っている必要がある。TAだけではFAXを受信できないのだ。このような使い勝手を考えると、「RVS-COM Lite」は、FAX受信よりも送信のほうが中心になるだろう。

また、ウィンドウズのほかにマッキントッシュにも対応している。マックのARA (Apple Remote Access) 用のファイルを持っているので、外出先などからAppleTalkにアクセスすることができる。もちろんウィンドウズでも、こ

のTAをRAS (Remote Access Server) として利用することで、ウィンドウズのネットワークにアクセスすることも可能だ。



見やすい液晶ディスプレイが付いている。

(左列) 上から、ISDNポート、DSU切り離しスイッチ、極性反転スイッチ、アース。(右列) 上から、アナログポート2つ、S/T端子2つ、終端抵抗スイッチ、RS-232Cポート

オムロン株式会社 34,800円

問い合わせ先 : 0559-77-4717

付属品 : RS-232Cケーブル、変換コネクタ、モジュラーケーブル、設定ソフトウェア

URL : <http://www.omron-ped.com/product/ta/mt128b2d.htm>



停電対策も万全なDSU内蔵ターミナルアダプター

DN-TA1

シャープのDN-TA1は、ちょっと変わったケースをサポートしている。多くのTAでは停電のときやTAの電源が入ってないときにも、最低1台の電話機だけは使えるようにする乾電池などを内蔵している。しかし、このTAでは、TA本体とは別にスタンド型の乾電池ケースが用意されているのだ。

TAとしての機能は非常にスタンダードだ。128KbpsのBODに対応、アナログポート2つ、S/T点が1つ、ISDNの各種サービスへの対応など、98年に発売されたTAとして必要な機能はきちんとサポートされている。

設定ユーティリティーも用意されており、複雑なアナログポートの設定などはパソコンから簡単にできる。さらに、アナログポートに接続した電話のプッシュホンからも設定できるようになっている。



(右列) 上から、アナログポート2つ、RS-232Cポート、S/T端子、ISDNポート、アース。(左列) 上から、電源スイッチ、スタンド型電池ケース接続端子。底面に、終端抵抗スイッチ、DSU切り離しスイッチ、極性反転スイッチがある。

シャープ株式会社 46,800円

問い合わせ先 : 0120-078178

付属品 : RS-232Cケーブル、変換コネクタ、モジュラーケーブル、スタンド型電池ケース、設定ソフトウェア

URL : <http://www.sharp.co.jp/sc/eihon/dn-ta1/text/>



大きなスタンドが停電対策用のバッテリーケースになっている。

インターネットマガジン / 株式会社インプレス ©1994-2007 Impress R&D



ルーターにするか TAにするか

98年に入ってTAも安くなったが、ダイヤルアップルーターも個人で購入できる価格に落ちてきている。はっきりいって、複数のパソコンを持っているユーザーは、どのパソコンからでもインターネットにアクセスできるダイヤルアップルーターを利用したほうが便利だ。

もし、1台しかパソコンがないならTAでも十分だろう。ただし、TAとパソコンの場所が離れる場合(既存の電話回線をISDN回線に置き換えた場合)は、ダイヤルアップルーターのほうが便利かもしれない。ネットワークケーブルを引けば、どこにパソコンがあってもOKだからだ。

TAのメリットとしては、最近出てきた

「RVS-COM」がある。このソフトウェアを使えばTAでFAXを送受信できるようになる。この機能はシリアル回線で接続したパソコンでしか利用できない。このためTAを使うしかなくなるのだ。



低価格ダイヤルアップルーターのブームを作った「MN128-SOHO」。



Atermシリーズでは定評のあるNECのダイヤルアップルーター「Comstarz Router」。

ターミナルアダプターの機能比較表

製品名	ALEX-TD503	AtermT50 DSU	128deUSB	MN128-mini	TS128JX /DZ	TM-AD1281	MT128B -D	DN-TA1
メーカー名	橋本アレクソン	NEC	朝日成電機製作所	NIT-TE 東京	サン電子機	アイワ機	オムロン機	シャープ機
標準価格	51,200円	39,800円	52,800円	23,800円	49,800円	34,800円	34,800円	46,800円
実勢価格	36,500円	24,800円	36,800円	21,000円	34,800円	-	27,700円	-
DSUの有無								
DSUの切り離し								
アナログポート数	3	2	3	2	3	2	2	2
S/T点の数	2	オプション	1	1	1	1	2	1
極性反転スイッチ								
接続最高速度 同期	128Kbps	128Kbps	128Kbps	128Kbps	128Kbps	128Kbps	128Kbps	128Kbps
非同期	38.4Kbps	57.6Kbps	57.6Kbps	-	38.4Kbps	38.4Kbps	38.4Kbps	57.6Kbps
OCNエコノミー	x			x	x	x	x	x
PIAFS				x			x	
スループットBOD								
リソースBOD								
FAX(G3)機能	(RVS-COM)	x	x	x	x (RVS-COM対応予定)	(RVS-COM)	(RVS-COM)	x
Dチャンネルバケット			x		x		x	x
ナンバーディスプレイ			x			(液晶表示のみ)	x	x
液晶表示	(バックライト付)		x	x			(バックライト付)	x
電源	内蔵	内蔵	内蔵	ACアダプター	内蔵	内蔵	内蔵	内蔵
停電対策				オプション				
消費電力	約9W	約8.5W	約14W	約10W	約7W	約13W	約7.5W	約6W
サイズ(W×D×Hミリ)	192×175.7×65	57×142×182	73×163×185	175×128×30	183×160×48	150×209.3×52	53×172×130	50×133×153
重量(電池除く)	約800g	約810g	約800g	約230g	約600g	約800g	約650g	約600g
問い合わせ先	03-5645-8571	0120-498-563	052-302-1128	0120-128023	0120-863810	03-3371-7981	0559-77-4717	0120-078178



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp